志賀原子力発電所適合性審査資料

SK2-地057-02

2022年7月20日

志賀原子力発電所2号炉 敷地周辺の地質・地質構造について

補足資料

2022年7月20日 北陸電力株式会社



Copyright 2022 Hokuriku Electric Power Co., Inc. All Rights Reserved.



	目	次	
<u>補足資料1.1-1</u>		<u>補足資料2. 2-1</u>	
能登半島の地質・地質構造に関する文献調査	••••• 1.1-1- 1	福浦断層の地質調査データ	••••• 2.2-1- 1
		(1)大坪川ダム右岸周辺調査	••••• 2.2-1- 2
		(2)福浦港東部 表土はぎ調査	••••• 2.2–1– 18
航空レーサ計測仕様	1.1-2- 1	(3)赤住東部 表土はぎ調査	••••• 2.2-1- 61
		(4)福浦断層南方延長 高位段丘 I a面の高度調査	••••• 2.2–1– 85
		(5)県道福浦-中島線沿い河床地表踏査(既往調査)	••••• 2.2–1– 89
敷地則面調査 海域の 音響測 深 仕様	1.2-1-1	(6)大坪川ダム左岸 表土はぎ調査	••••• 2.2–1– 91
法口 资料 1 0 0		(7)福浦断層以外の破砕部の連続性確認	••••• 2.2-1- 105
<u>補足貝科1.2-2</u> 	1 0_0_ 1	(8)FK-1孔, 大坪川ダム右岸トレンチ XRD分析	••••• 2.2–1– 155
百次抹宜杭邺凶	1.2-2- 1	(9)福浦断層北端付近 XRD分析	••••• 2.2–1– 213
姑 兄姿料1 2—2		(10)福浦断層周辺に認められる谷地形 表土はぎ調査	••••• 2.2–1– 221
	1 0_0_ 1	(11)福浦断層周辺 段丘面調査	••••• 2.2–1– 234
(1) 海底計料 採取	1 2-2- 2	(12)福浦断層 薄片観察	••••• 2.2–1– 275
	····· 1.2-3- 2	(13)断層o以外の破砕部の連続性確認	••••• 2.2–1– 305
(2) 陸エハーリング調査 火山灰力 切和未	1.2-5- 5	(14)断層oに関する調査データ	••••• 2.2–1– 311
<u>補足資料1.4-1</u>		補足資料2 2-2	
中位段丘 I 面 旧汀線高度調査	••••• 1.4-1- 1	敷地近傍のその他の断層等の地質調査データ	••••• 2.2-2- 1
は 日		(1)長田付近の断層 表土はぎ調査	2.2-2- 2
		(2)和光台南の断層 地表踏査	2.2-2- 12
能金キ島四戸域の海戸地形	1.4-2- 1	(3)和光台南の断層周辺 段丘面調査	••••• 2.2-2- 15
		(4)高ツボリ山北西方 I リニアメント 表土はぎ調査	2.2-2- 25
		(5)高ツボリ山北西方 II リニアメント周辺 段丘面調査	2.2-2- 29
			0.0.0.07

(6)高ツボリ山東方リニアメント周辺 段丘面調査 ・・・・・・2.2-2-37

<u>補足資料2. 4-1</u>

富来川南岸断層の地質調査データ	 2.4-1-	1
(1)東小室西方 トレンチ調査	 2.4-1-	2
(2) 富来川南岸断層周辺の中位段丘面調査	 2.4-1-	6
(3)富来川南岸断層南西方の地形面調査	 2.4-1-	13
(4) 富来川南岸断層南方の高位段丘面調査	 2.4-1-	105
(5) 富来川南岸断層北方の高位段丘面調査	 2.4-1-	112
(6)富来川南岸断層北東方の地質調査	 2.4-1-	118

補足資料2.2-1

福浦断層の地質調査データ

(1)大坪川ダム右岸周辺調査

大坪川ダム右岸北道路法面表土はぎ 写真位置図

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-3 再掲





W→



写真①



大坪川ダム右岸北道路法面表土はぎ 写真③~④

←Е



写真③





W→





写真⑥







写真⑧



写真⑨





1m

断層部写真



W→



写真①





←E



写真13



大坪川ダム右岸南道路底盤表土はぎ 写真位置図

○大坪川ダム右岸南道路底盤表土はぎ調査の結果,福浦断層に対応する断層を確認した。 ○全線の写真を次頁以降に示す。



表土はぎ調査結果(ルートマップ) 写真位置図

W→

←E



写真①



写真②



÷Е

W→



写真④



写真⑤





写真⑦

←NW



写真⑧

SE→

大坪川ダム右岸トレンチ南壁面 写真,スケッチ

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-15 再掲

○大坪川ダム右岸トレンチの南壁面において、穴水累層の岩盤を西側に降起させる比高差1m以上の逆断層を確認した。その走向・傾斜は、№10°~ 12°W/51°~68°SWである。断層は、鏡肌が認められ、厚さフィルム状~0.8cmの粘土を挟む。

〇断層はその付近の岩盤上面を約30~40cm変位させ、砂礫層、砂層(層理部)、砂層(無層理部)、灰色粘土層下部まで認められる。



断層① 断層②





灰色粘土層

- 主に灰白色(7.5Y7/2)を呈する. 一部赤褐色部(2.5YR4/8)を呈するトラ斑がレンズ状~帯状に分布する
- 指圧で跡が残らない程度に締まっている
- 下位との境界は凹凸し、薄い盆地状を形成する
- 最下部には、厚さ2~5cmの砂層が挟まれ、一部では褐鉄鉱が沈着し、ゆるく波曲する

砂層(土壌化部)

- ・明赤褐色(5YR5/8)を呈する
- 指圧でわずかに跡が残る程度に締まっている

砂層(無層理部)

- にぶい黄褐色~にぶい橙色(10YR5/4~7.5YR6/4)を呈する
- 指圧で跡が残らない程度に締まっている
- ・厚さ0.2~0.3cmの赤褐色粘土が縦方向に1~3cm程度の間隔で分布する

砂層(層理部)

- オリーブ色~黄褐色(5Y5/4~2.5YR5/6)を呈する
- 指圧で跡が残らない程度に締まっている
- 全体的に層理が発達する
- ・ 白色の中~粗粒粒子が20~30%程度存在する
- 赤褐色粘土が厚さ0.3~0.7cm程度で水平ないし縦方向に不規則に分布する

砂礫層

- 灰オリーブ色~黄褐色(7.5Y5/3~2.5YR5/6)を呈する
- ・平均径3~7cm,最大径25cmの安山岩亜円~亜角礫を含み,礫率は80~90%程度で礫同士が接した礫支持構 造が認められる. 径15cm未満のほとんどの礫はくさり礫化している
- 基質は淡褐色中~粗粒砂からなり、指圧で変形する程度に軟質で、ギブサイトが認められ、白色を帯びる。

安山岩(角礫質)

- 明黄褐色~灰白色を呈する
- ナイフで削ることができる程度に軟質
- 灰白色部は岩盤上限面付近及び割れ目沿いに分布する

断層

 ・ 変質した安山岩(角礫質)の上面に西側隆起の変位を与える比高差1m以上の逆断層であり、上盤側の岩盤上 面は削剥されている

断層①

- 変質した安山岩(角礫質)の上面に西側隆起の変位を与える逆断層であり、断層付近の岩盤上面の変位 量は、断層方向に約20cmである
- 下部で灰白色、上部で赤灰色を呈する厚さ0.2~0.8cmの粘土が分布し、粘土中には鏡肌が認められる 下方では、数条の粘土脈に分岐・会合する
- 断層は、砂礫層とその上位の砂層(層理部)まで伸長する

断層(2)

- 変質した安山岩(角礫質)の上面に西側降起の変位を与える逆断層であり、断層付近の岩盤上面の変位 量は、断層方向に約10~20cmである
- · 厚さはフィルム状~0.3cmの赤灰色粘土が分布し、粘土中には鏡肌が認められる、下方では、不明瞭とな り、分岐しながら灰白色~黄褐色の粘土~砂状部となる
- ・ 断層は、砂礫層とその上位の砂層(層理部, 無層理部), 灰色粘土層まで伸長する. 砂礫層はほぼ直立 し,一部逆転層をなす.砂層及び灰色粘土層下部は東へ60°傾斜する

<u>断層周辺の状況</u>

- 断層周辺には副次的な断層が認められる
- ・その厚さはフィルム状~0.6cmで、赤灰色~灰白色~褐色の粘土・砂状物質を伴い、岩盤上限に20cm程度の 楔状の落ち込みや数cmの変位が認められ、砂礫層とその上位の砂層(層理部)まで不明瞭に伸長するものも ある、下方では不明瞭になりながら分岐・会合する

撓曲

- ・ 断層部では、砂礫層が岩盤上限面に沿って水平からほぼ鉛直に変形しており、その上位の砂層(層理部,無 層理部)も砂礫層の変形と同様に鉛直~60°東へ傾斜する
- その上位の灰色粘土層には、断層②が伸長し、水平~20° 西傾斜の幅1cm程度の灰白色粘土層に連続する .また、西端に分布する褐鉄鉱化した砂層が断層(2)により3cm程度変位するとともに変形して東へ60°傾斜す

 ・
 灰色粘土層の上位層は削剥されている

南壁面スケッチ(断層付近)

1m

٥

大坪川ダム右岸トレンチ西側・東側トレンチ底盤 写真, スケッチ

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-16 再掲



大坪川ダム右岸トレンチ 礫種及び礫の形状の計測データ

【大坪川ダム右岸トレンチ】

		よこ置き(ab面)					たて置き(ac面)						
試料 No.	礫種	長径(a) (cm)	中間径 (b) (cm)	面積 (cm²)	周囲長 (cm)	真円度 (Circularity)	中間径長径 比(b/a)	長径(a) (cm)	短径(c) (cm)	面積 (cm²)	周囲長 (cm)	真円度 (Circularity)	短径長径比 (c/a)
1	安山岩	20.743	20.086	327.236	70.599	0.825	0.968	21.334	13.784	230.961	60.329	0.797	0.646
2	安山岩	10.517	8.380	69.214	32.517	0.823	0.797	11.465	7.000	63.038	31.876	0.780	0.611
3	安山岩	13.284	9.970	104.016	40.143	0.811	0.750	13.526	5.020	53.331	34.580	0.560	0.371
4	安山岩	16.522	9.765	126.711	46.082	0.750	0.591	16.683	7.318	95.888	43.051	0.650	0.439
5	安山岩	18.911	15.868	235.681	61.195	0.791	0.839	18.452	11.661	168.986	54.925	0.704	0.632
6	安山岩	7.394	4.801	27.878	21.514	0.757	0.649	7.579	3.734	22.229	19.739	0.717	0.493
7	安山岩	8.561	4.644	31.227	23.266	0.725	0.542	8.851	3.960	27.526	22.600	0.677	0.447
8	安山岩	14.557	7.644	87.401	39.676	0.698	0.525	15.847	4.205	52.333	37.270	0.473	0.265
9	安山岩	11.094	7.844	68.341	33.310	0.774	0.707	11.314	5.344	47.485	29.533	0.684	0.472
10	安山岩	7.368	4.777	27.643	21.178	0.775	0.648	7.000	4.831	26.562	62.998	0.846	0.690
11	安山岩	20.312	16.755	267.287	62.998	0.846	0.825	21.652	9.269	157.614	56.619	0.618	0.428
12	安山岩	6.700	4.620	24.309	19.493	0.804	0.690	6.817	3.741	20.032	18.356	0.747	0.549

データ数	平均真円度(ab面)	平均中間径長径比	平均短径長径比		
12	0.782	0.711	0.504		

(2) 福浦港東部 表土はぎ調査

福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップA 写真位置図

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-18 一部修正



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップA 写真①~③

←Е





←SE

 $NW \rightarrow$





第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-21 再掲





福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップA 写真⑨~①

←E

W→



写真⑨



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップA 写真①~①

₩→



写真⑫





第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-24 再揭

←Е

W→



写真14







正断層箇所



₩→



▲ B

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-26 一部修正

福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップB 写真位置図



2.2-1-27

福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップB 写真①~③

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-27 再掲





← NE

SW→



写真④



写真⑤





← NE

sw→



写真⑦





← NE





←Е

W→



写真⑪




第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-32 再掲

←Е

₩→



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップB 写真16~17

第1009回審查会合 机上配布資料1 P.2.2-1-33 再揭







第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-34 再掲

W→

њЕ



写真18



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップB 写真20~21

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-35 再掲



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップB 写真22

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-36 再掲





第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-37 再掲

sw→

←NE



写真23



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップC 写真位置図

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-38 再掲



表土はぎ調査結果(ルートマップC) 写真位置図

福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップC 写真①~②

SW→



写真①



写真②





写真③



写真④



第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-41 再掲





← NE

sw→



写真⑦



写真⑧



← NE

sw→



写真⑨



写真⑪



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップD 写真位置図



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップD 写真①~②

sw→

←NE

写真①



写真②



sw→

←NE



写真③



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップD 写真⑤~⑥

sw→

W→



←E





第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-48 再掲

⊷w



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップD 写真⑪~⑪

← W



写真⑪



写真⑪



← NW

SE→



写真⑫





SE→

← NW



写真⑮



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップD 写真18~20

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-52 再掲





← SE

NW→



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップD 写真23~25

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-54 再掲



福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップE 写真位置図

写真(5

ルートマップロ

重複区間

N15° E/70° NW

密着

節理.N6°W/68°SW 密着、鏡肌・挟在物なし

節理.N45°W/38°SW 密着、鏡肌・挟在物なし。

密着、鏡肌・挟在物なし。

0

○表土はぎ調査(ルートマップE)の結果,本調査範囲内には断層は認められない。 〇全線の写真を次頁以降に示す。 記ルートマップ範囲 断層a(NS/60°W) ant the 凡例 :地表踏査による確認箇所 -:表土はぎ調査による確認箇所 :高位段丘亚面 :高位段丘Ⅱ面 写真(4) RITE-DBR :高位段丘 Ib面 写真3 写真2 estares, ↤ :断層箇所(長線は走向,矢印は傾斜方向を示す) 寅真(1 断層位置 推定区間 福浦断層 節理N54°W/64°NE 1cm開口、鏡肌・挟在物なし。 表土はぎ調査 位置図 節理.N72°W/74°N 節理.N28°W/76°NE 密着、鏡肌・挟在物な 密着、鏡肌・挟石物なし 節理.N6°W/45°SW 開口、鏡肌・挟在物なし 節理.N12°W/82 NE 密着、鏡肌・挟在物なし。 節理.N36° E/62° NW/ 密着、鏡肌・挟在物なし。 凝灰岩 節理.N72° E/28° NW 節理.N28° E/62° SE 数mm開口、鏡肌・挟在物なし 節理.N2°W/68°SW 節理:N32° E/54° NW 密着、鏡肌・挟在物なし。 密着、鏡肌・挟在物なし 節理.N60° W/56° SW 密着、鏡肌・挟在物なし 節理.N14°W/46°SW 密着、鏡肌・挟在物なし、 凝灰岩 凝灰角礫岩 凡例

凝灰岩

20m

福浦港東部 表土はぎ調査 ルートマップE 写真①~②







←E



写真③

下写真 撮影方向



←Е

 $W \rightarrow$



←E



写真⑤



(3)赤住東部 表土はぎ調査

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真位置図



・福浦断層に対応する断層は認められない。

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真①~④

•	₩	E→
	写真①	
•	←W	E→
	写直②	
	サキビ	
	←W	E→
	写真③	
•	←SW	NE→













第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-64 再掲





←SW		NE→
	写真⑪	
~₩		E→
	写真18	
₩		E→
	写真⑪	
₩		E→

写真20

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップF 写真21~24






←S

N→



写真29

赤住東部 ボーリング調査 位置図,断面図





2.2-1-71

赤住東部 ボーリング調査 コア写真及び柱状図a~b





コア写真a





コア写真b

柱状図c

深度 (m)	柱状図	土壤 層位 (名称)	土性あるいは 地質名	色調	土壤構造	腐植含量	硬密度	乾湿	層界の性状	ĐE	紋	40	察	58	*
-	\times	埋土													
			腐植質シルト	ML (10YR 2/1)	なし	富	楝	半羅	不明	なし		指圧で悪い。	指が入る特	皇,非常1	こ締りは
). 5			524	にぶい黄袍 (10YR 5/4)	なし	含	2R	半湿	不明	なし		指圧で 悪い。	跡が残る 着に、炭(星。縮り(と物を含)	の程度は Drage
.0-			砂混じりシルト	褐 (7.5YR 4/6)	不明	なし	ф	半湿	不明	なし		指圧で 較的線 や種 1	わすかに まっている mm以下の	林が残る(6。希に、 9白色粒子	型度に比 炭化物 子を含む。
.5-	0000000 0000000 0000000	河床堆積物		赤褐~明赤褐 (5YR 4/6-5/6)	なし	なし	¢	半湿	不明	なし		指圧で 較的 着 の み, る。	わすかに ほってい 角〜角繊 全体的に・	赤が残る! 5。安山! (径 2em くさり穫(県度に比 計や凝灰 以下)を としてい
-	00000	×.	發發	赤褐 (5YR 4/6)	なし							(株式、安) 全体的に	山影の亜角綱((さり離化して)	E 2cm (1.7) いる。 基質け:	からなり、 シルトである。
2.5		穴木梨屬	安山岩	灰 (5Y 6/1) 灰~ 灰オリーブ (5Y 5/1-6/2) オリーブ戻 (10Y 4/2)								全で深 非 深 非 深 た で 滞 地 で 深 非 深 た で で 深 ま 常 変 示 赤 で で 深 ま 常 変 で 示 示 売 ち の た こ こ ろ た の た こ ろ た の た こ こ ろ た の た こ こ ろ た の ち の ち の ち の ち ろ ち の ち の ち ろ ろ ろ ち ろ ろ ろ ろ ろ ち ろ ろ ろ ろ ろ ろ	に強風化 に前れる。 0-2.15m 軟質化し、 0-2.7mで 色を呈すり	しており, は水分を ている。 ?は、亀手 店士が見り	ナイフ 多く含み 時に沿っ られる。



柱状図d

深度 (m)	柱状図	土壤 層位 (名称)	土性あるいは 地質名	色調	土壤構造	腐植含量	硬密度	乾湿	層界の性状	斑	紋	観	察	53	*
	X	埋土													
0.5			砂混じりシルト	掲 (7.5YR 4/6)	不明	なし	Ŧ	半湿	不明	なし		指圧で 較的線 度は明	わすかに まってい 褐色を呈	跡が残る る。下部 す。	程度に比 10cm 程
1.0	200 00000 200 00000 0000000		礫混じり粘土	厌 (5Y 6/1)								指圧で る。上 被り, を呈す	跡が残ら 部 30em に 基次省 。 載次名 5) を含	ない程緒 程度は、 抱色(10 のくさり)	まってい 土壤化を YR 6/4) 藤 (径 1
2.0				橙 (5YR 7/6)											
2.5				灰白 (10YR 7/1) にぷい黄褐 (10YR 5/4)								全体的 で容易	に強風化	しており	、ナイフ
3.0		穴水黒腦	安山岩									深色深粘度112 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12 12	85-2.0m の流入が 85m お。 し、によ 7~2.9m を呈す射	にかけて 見られる。 に 超 3.7m に 超 色を では、 単 1 土が 見ら	上位の戻 付近では 呈す。 製沿って れる。 キャ
3.5				灰オリーブ (56¥ 6/1)								if 6 it	見られる		



赤住東部 ボーリング調査 コア写真及び柱状図e~f







柱状図f





2.2-1-74

赤住東部 ボーリング調査 コア写真及び柱状図g~h











コア写真h

赤住東部 ボーリング調査 コア写真及び柱状図i~j

柱状図i





柱状図j

深度 (m)	柱状図	土壤 層位 (名称)	土性あるいは 地質名	色調	土壤構造	腐植含量	硬密度	乾湿	層界の性状	斑	紋	観	察	58	#
1.1.1.1.1				にぷい黄袍 (10YR 4/3)							21				
0.5			線見じり 砂質シルト 砂種 砂糖	褐 (7.5~10YR 4/	なし	なしなし	ф ф	半澄 半澄	不明不明	なし		指圧でわずかに勝が残る程度に比 軟的締まっている。安山岩の比較 的新鮮な角〜亜円磯(径 0.5~2em)を含む。			
1.0		盛士もしくけ										指圧て	わずかに	椿が残る者	し度に比
1.5		崩積土		褐 (10YR 4/4)	なし					なし		較的終 の角へ り, 差	まってい。 ·亜角礫(:質は砂質:	る。確は, 臣 1~3cm) シルトでき	安山岩 からな ろ。
2.0				にぷい黄袍 〜黄褐 (10TR 5/4-5/)	なし	なし	BR	半覆		なし		指圧で は悪い を含む 5mm	(跡が残る) ()、希に、) た。下位と) 程度の掲載	程,締まり 安山岩のく の境界付近 気を挟む	の程度 さり藤 に厚さ
2.5		穴	12:11:05	灰白 (7.5Y 7/1)		-			-		-	深度 2 る程効 白色な	.5~2.7ml 風化しては	t, 指圧で おり, 粘土	指が入 化し戻
		木累屬	(角礎質) ?	暗青灰 (5BG 4/1)								やや泉 強風化 ~質視	(鮮な部分) にた部分 (色を呈す。	は暗骨灰色 では、灰オ	を呈し、





深度 (m)	柱状図	土壤 層位 (名称)	土性あるいは 地質名	色調	土壤構造	腐植含量	硬密度	乾湿	層界の性状	斑	紋	観	察	St	事
	1		Difference L	黑褐 (2.5Y 3/2)	- なし 0	なな	rta	*	不	なし		指圧でわずかに跡が残る程度に比 較的線まっている。			
0.5-		盛土	UR PAPE	暗挹~挹 (10Y 3/4~4/4)		L	+	湿	91						
1.0-		もしくは崩積土	確混じり 砂質シルト	暗灰褐 (2.5Y 4/2)	なし	なし	ф	半湿	不明	なし		指圧で 較的線 (経 ぞ 縦	わずかに まってい 0.5~3cm は大きく		度に比 の重角 下部
1.5-				砂礫	選 (2.5Y 3/2) なし な 常 型 研 なし			指圧で跡が残らない程,締まって いる。種は、安山岩の角〜亜角器 (径 3cm 以下)からなり、基質(1 砂質シルトである。							
			砂質シルト	掲 (10YR 4/6)	なし	なし	密	半湿	不明	なし		相任で朝 に、安山 む、厚さ	が残らない 若のくさり Jemm 程度に	型、勝まって) 単 (登 kens A の掲鉄鉱を2考	いる。 巻 (下) を含 放挟む。
2.0-		穴水累層	安山岩 (角藤質) ?	オリーブ戻 (10¥ 5/2~4/2)								全体的 でなオオ は 呈す	に強風化 に前れる。 ープ戻色 化し, 黄	しており, 、やや新鮮 を呈し,そ 褐色 (1017	ナイフ な部分 の周辺 R 5/8)



コア写真k

柱状図I

深度 (m)	柱状図	土壤 層位 (名称)	土性あるいは 地質名	色調	土壤構造	腐植含量	硬密度	乾湿	層界の性状	斑	紋	8 R	察	58	*	
0.5		盛土もし	確混じり 砂質シルト	ンラ 灰黄褐 ルト (10Y 4/2)	¢L	なし	中	半湿	不明	なし		指圧でわずかに跡が残る程度に比 軟的補まっている。安山岩のくさ り磯(径1-3cm)を含む。深度				
1.0		くは崩積土	*	黑褐 (2.5Y 3/1)								0.6~1.1m は,安山岩の巨磯であ る。				
			礫混じり粘土	にぷい褐 (7.5YR 5/3)	なし	なし	ф	半湿	不明	なし		推住でた っている	ッずかに勝が 。 観天岩 ?	残る程度に日 のくさり最る	と軟的線ま 含む。	
1.5	2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2	穴水累層	穴木累層		にぶい掲 (7.5YR 5/3)								指圧で 較的線 り碟(質は土	わずかに まってい 径 4cm ジ 壌化し,	勝が残る# る。安山 いと)から 粘土化して	星度に比 号のくさ なり、基 ている。
2.0	* * * * * * * * * * * * * * * * * * *			穴木累層	安山岩 (角礫質) ?											
2.5				にぷい橙 (7.5TR 6/4)								全体的 で容易 種(径	に強風化 に削れる。 5~15cm	しており。 。安山岩の 以上)かり	ナイフ りくきり らなる。	



コア写真

赤住東部 表土はぎ調査 ルートマップG 写真位置図

○道路底盤において表土はぎ調査を実施した結果,岩盤には断層は認められない。 ○全線の写真を次頁以降に示す。





第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-77 再掲



写真①



写真②



写真③



写真④





第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-78 再掲

NE→

←SW





写真⑦



写真⑧



写真⑨





第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-79 再掲

NE→

←SW





写真12



写真13



写真14





第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-80 再掲

←SW NE→ 1SAUSSOF 7 写真16 写真① ←S N→ 写真18 写真19

写真20



第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-81 再掲

←sw





NE→

←sw



写真⑦

(4)福浦断層南方延長 高位段丘 I a面の高度調査

福浦断層南方延長 高位段丘 I a面の高度調査 1-1'断面①

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-84 再掲



調査位置図



本測線の地質データは、1号機建設前(S60, 61年)にボーリング調査によって取得されており、コアの状況が悪く、海成堆積物の識別が困難である。



福浦断層南方延長 高位段丘 I a面の高度調査 1-1'断面②

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-85 再掲









No.3





2.2-1-87

福浦断層南方延長 高位段丘 I a面の高度調査 3-3'断面

第1009回審査会合 机上配布資料1 P.2.2-1-86 再掲



柱状図

(5)県道福浦一中島線沿い河床地表踏査(既往調査)



(6)大坪川ダム左岸 表土はぎ調査

(6)-1 ルートマップH